

# 全 員 協 議 会

令和4年8月17日（水）  
13時20分～15時07分  
（本会議終了後）  
議 場

## 〔出席議員〕

笹田議長、川神副議長  
肥後議員、村木議員、大谷議員、三浦議員、沖田議員、足立議員、村武議員、  
川上議員、柳楽議員、串崎議員、小川議員、上野議員、布施議員、岡本議員、  
芦谷議員、永見議員、佐々木議員、田畑議員、西田議員、牛尾議員

## 〔執行部〕

市長、副市長、教育長、総務部長、地域政策部長、健康福祉部長、市民生活部長、  
産業経済部長、都市建設部長、旭支所長、上下水道部長

## 〔事務局〕 局長、次長、大下書記

---

## 議 題

### 1 執行部報告事項

- |  |         |
|--|---------|
| (1) 浜田市行財政改革実施計画 平成28年度～令和3年度報告について                | (総務部)   |
| (2) 浜田市行財政改革実施計画 令和4年度計画について                       | (総務部)   |
| (3) 浜田市国民健康保険診療所の診療体制について                          | (健康福祉部) |
| (4) 新型コロナウイルスワクチンの接種対応について                         | (健康福祉部) |
| (5) 浜田漁港高度衛生管理型7号荷さばき所への再生可能エネルギー導入<br>事業の進捗状況について | (市民生活部) |
| (6) 浜田市地球温暖化対策実行計画推進本部の設置について                      | (市民生活部) |
| (7) 道の駅「ゆうひパーク浜田」の経営状況等について                        | (産業経済部) |
| (8) 中山間地域における給油所存続に向けた取組について                       | (旭支所)   |
| (9) 浜田処理区下水道整備事業について                               | (上下水道部) |
| (10) その他   |         |
| ・三桜酒造の跡地について                                       | (都市建設部) |

### 2 第2回はまた市民一日議会の周知方法の報告とお願いについて

### 3 その他

【詳細は会議録のとおり】

【会議録】

[ 13時 20分 開議 ]

笹田議長 | ただいまから令和4年8月17日の全員協議会を始める。本日は牛尾議員から欠席の連絡を受けている。それでは議題に入る。

1 執行部報告事項

(1) 浜田市行財政改革実施計画 平成28年度～令和3年度報告について

笹田議長 | 総務部長。  
総務部長 | (以下、資料をもとに説明)  
笹田議長 | ただいまの報告について質疑等はないか。  
(「なし」という声あり)

(2) 浜田市行財政改革実施計画 令和4年度計画について

笹田議長 | 総務部長。  
総務部長 | (以下、資料をもとに説明)  
笹田議長 | ただいまの報告について質疑等はないか。  
(「なし」という声あり)

(3) 浜田市国民健康保険診療所の診療体制について

笹田議長 | 健康福祉部長。  
健康福祉部長 | (以下、資料をもとに説明)  
笹田議長 | ただいまの報告について質疑等はないか。  
(「なし」という声あり)

(4) 新型コロナウイルスワクチンの接種対応について

笹田議長 | 健康福祉部長。  
健康福祉部長 | (以下、資料をもとに説明)  
笹田議長 | ただいまの報告について質疑等はないか。  
(「なし」という声あり)

(5) 浜田漁港高度衛生管理型7号荷さばき所への再生可能エネルギー導入事業の進捗状況について

笹田議長 | 市民生活部長。  
市民生活部長 | (以下、資料をもとに説明)  
笹田議長 | ただいまの報告について質疑等はないか。  
(「なし」という声あり)

(6) 浜田市地球温暖化対策実行計画推進本部の設置について

笹田議長 | 市民生活部長。  
市民生活部長 | (以下、資料をもとに説明)  
笹田議長 | ただいまの報告について質疑等はないか。  
(「なし」という声あり)

(7) 道の駅「ゆうひパーク浜田」の経営状況等について

笹田議長 産業経済部長 笹田議長 足立議員	産業経済部長。 ( 以下、資料をもとに説明 ) ただいまの報告について質疑等はないか。 損益計算書は2期分だけ記載があるが、新型コロナウイルス感染症関連で売り上げ減少等とも記載があるので、コロナ禍発生前の売り上げから比較するのが適正かと思う。せめて5年分くらいの損益計算書を記載していただきたいのだが。
産業経済部長 足立議員	これは毎年報告するものなので、今後は5期分記載したい。 ゆうひパーク浜田は観光にもよく使う施設であり、多くの観光客に休憩利用してもらえる。総入込客数が25万7千人とのことで、毎年25万人から30万人弱の客数を安定して計上できる施設は、この近辺ではアクアスとゆうひパーク浜田しかない。今後浜田市が取得するなり何なりという方向性において、そうした部分は十分配慮していただけるのか。
産業経済部長	5月の全員協議会でもお話ししているが、6月定例会議の補正予算で取得に関する不動産鑑定を依頼中で、それをもとに取得するかどうか、また取得に当たっての課題、また先ほども報告したが今回は民間事業者も設置者になれるので、自由な発想でもっと誘客ができるような施設にしたいといった観点で、9月定例会議で市としての方向性を示したい。
足立議員	損益計算書5年分ともう一つ、キャッシュフロー計算書も一緒に提示していただきたい。令和5年8月29日に3千万円の返済が迫る。1年間猶予したといえど、1年後に3千万円という大きな返済がある。ここには多額の交付金も入っているのだから議員側もキャッシュフローは把握しておかないといけない。お願いしたいのだが。
産業経済部長	株主総会にもキャッシュフローは出てくるし副市長も監査でいるので、議会に資料提出したい。
笹田議長	ほかに。 ( 「なし」という声あり )

(8) 中山間地域における給油所存続に向けた取組について

笹田議長 旭支所長 笹田議長 川上議員	旭支所長。 ( 以下、資料をもとに説明 ) ただいまの報告について質疑等はないか。 小さな拠点のことを考えると、旭においては今市地区に給油所があるべきだと思うが、どのようにお考えか。
旭支所長	島根県が進めている小さな拠点という意味から、旭の現状の資料にもある今市地区に、合併前は2か所給油所があったものが、民間として廃止になった。本来なら一義的にも今市にあればということだが、新規給油所を設置となると民間でもかなりハードルが高くなっている。今、地域と協議する中では今ある施設を存続する、これをもっと活用

していく方向も地域で検討されている。そちらへの支援を検討中である。

川上議員

インターチェンジの近くにスタンドがないのは非常に不都合だと思う。もしかしたら旭インターで下りて燃料を注ぐ方がいるかもしれない。そう考えると今市地区、しかもインターチェンジに近い所にスタンドを検討されるのがよろしいかと思う。今後も検討いただくようお願いする。

足立議員

制度概要について。以前弥栄でも給油所の助成があったが、そこで助成した概要と同一内容なのかどうかご説明をお願いする。

旭支所長

今回の補助制度については全市という形で、本庁の地域政策部と協議しているが、補助率は同じ3分の2、補助要件についても地域としてガソリンスタンドが必要と認識、もしくは地域として支援する活動団体があるという部分では、弥栄と同じような形である。ただ、今回限度額等については既存の地下タンク改修、国の制度の基準単価を使用しているので、この部分が弥栄と比べて限度額が今回のほうが低い。

足立議員

弥栄は地域に一つしかない状態にもかかわらず、難儀した記憶がある。そうしたことを踏まえ、今回旭においては複数ある中でこれをどうしてもやらねばならないと考えると、制度概要で見ると旧全市適用するのだと言われるが、旧浜田においてはなかなかこれは実行できないのかと受けとめてしまう。一方、地球温暖化の中でEVへの移行が世界的に進んでいる。にもかかわらずガソリンスタンドを15年間の事業計画を出せということは、最低15年間は存続せよということになるかと思う。ただガソリンスタンドの延命を図るというよりも、そこに複数のEVスタンドを併設するなど、そうしたことを制度概要につけ加えないと、単に物の入れかえだけの助成金は後ろ向きではないか。

地域政策部長

全市適用で現在考えている。ガソリンだけでなく電気自動車の充電も踏まえてというご意見だと思うが、ガソリンに限らず公共交通、自動車の運行形態等を確保する上でこういった施設は必要だと思う。これは中山間地域だけでなく浜田市全域で必要だと思っている。2年前の弥栄での支援を参考に制度構築しているが、今後この補助制度のあり方については今いただいたご提案を含めて検討させていただきたい。

足立議員

ぜひ検討をお願いする。旧浜田市内のガソリンスタンドにこれを適用しようと思っても、この概要を見る限り難しいと思う。事業者側からしてみると、旧市内と旧郡部には大きな差があるのではという声が聞こえてきそうなのだが、執行部はどのようにお考えか。

地域政策部長

資料2ページ目にも補助要件ということで書かせてもらっているが、15年以上の給油所運営等があるが、2番目で給油所に対する地域の支援組織が存在するという事と、各地域において給油所は非常に重要な施設である。旧浜田市内の地域にもよるが、その地域が望んでおられるかどうか非常に重要な視点であると思っているので、今回はこういった補助要件で作成した。このあたりについては地域としっかり話し合いたい。

三浦議員

要望が出ている和田の給油所の収支計画はいつのタイミングで出て

- 旭支所長　　くるのか。弥栄のときは事前に利用者の予測などを出していただき、こちらでも事業継続性などを踏まえながら議論したように記憶しているが。
- 旭支所長　　地元では既に過去の経営状況から今後15年程度の試算をしている。ただ先ほども話があったが、EV化と人口減少もあるので燃料供給も下がっていくだろう中で、全体的に赤字が出てくるのではないかと、しかし地域で支えていこうという検討を地域でしておられる。補助金申請段階ではすでにそちらを立てられる予定であると、事務局では話している。
- 三浦議員　　いつのタイミングか。弥栄のガソリンスタンドをぜひ残してほしいという要望を地域からいただき、やはりタンク修繕にはそれなりのお金がかかる、利用する方々がどのくらいいて、もちろん利用者数が減っていくことも加味した上で、どのような予測が立てられているのかというお伺いを立てながら、その事業の必要性を審議したように思う。同じように旭においても事情は理解しているが、事業のより詳細な部分を我々にもできるだけ提示していただき、どういった活用の仕方があるのかという議論を深めたほうがよいように私は思うが。その材料が異なるので、その部分をご説明いただきたい。
- 地域政策部長　　収支計画や利用状況の見通しなどについては冒頭に支所長から説明があったとおり、次回9月定例会議の補正予算で予算審議をしていただきたいと思っているので、そのときの審査資料ということで提出させていただきたい。
- 笹田議長　　ほかに。
- （ 「なし」という声あり ）

**(9) 浜田処理区下水道整備事業について**

- 笹田議長　　上下水道部長。
- 上下水道部長　　（ 以下、資料をもとに説明 ）
- 笹田議長　　ただいまの報告について質疑等はないか。
- 川上議員　　DBをやるとなると設計施工が一緒なので、今後変更金額は上がってこないと考えてよいか。
- 上下水道部長　　基本的には当初お示しした予算範囲内でしていただくことになる。ただ、現在物価高騰などもあり通常の想定を超えるような価格変動があれば、変更等が生じる可能性はある。
- 川上議員　　DBなので物価の変動等についても考慮して出てくると思う。よって基本的には増額変更はあり得ないと考えてもよいと思うが。
- 上下水道部長　　実施方針案のリスク分担に記載している。物価変動等についても一定範囲、通常工事に変更にならないような部分については当然事業者側のリスク分担、そういったものを超えた異常な物価高騰については市でリスクを負担することとしている。
- 川上議員　　異常な物価変動とは誰が判断するのか。何%までをリスクと見なすかは問題だと思う。DBとはそこまでしっかりやるべきである。決まったことを決まった金額で全部やるのがDBなので。再度回答をお願い

- いする。
- 上下水道部長      ご指摘のとおりである。通常の工事と同様である。リスクを市が負担する可能性もあると申し上げたが、これは市や事業者が独自に判断するのではなく、建設工事一般、国等が事業の変動リスクについて業者に負担させるべきでないことが発生すれば、市の負担になる。決して市や事業者が恣意的に決めるものではない。
- 三浦議員          7月の福祉環境委員会のときに、この事業について予算の変更があり得るという報告があったように思うが。19億から12億増加して約31億円になった。管路のみという報告がされているので、下水道の処理場といったところの金額は入っていないので、さらに上がるのかと見ていたのだが。
- 上下水道部長      7月13日に開催された福祉環境委員会において、事業費が変更になると報告している。これはすでに計上している予算ではなく、以前示していた事業計画で管路の経費を約20億円を見込んでいたのが約10億円増えて、約30億円になると報告させていただいた。なおこの部分についてはご指摘のように管路部分であり、実際にあと処理場もある。処理場も当初10億円を見込んでいるが、そちらも当然物価変動等があり、上昇する可能性もあるかと思う。現在処理場については、設計施工一括発注方式の可能性調査をしており、その中で設定金額を出すようにしている。
- 三浦議員          今の計画段階でこれだけ予算が膨らむことがわかってきた中で、この下水道整備事業の採算性がどのように変わってくるのか。人口が極端に増えるわけでもないし、計画自体はもう指定されたエリアでつなぎ込みの想定は大体されてきたわけだから、これからの下水道事業計画は大幅に変わってくると思うのだが、そのあたりは現段階でどのように捉えているか。
- 上下水道部長      今後の下水道事業だが、今回の事業費増加分についてはやはり市民にも負担をいただくということで、使用料の改定も視野に入れて事業を進めていきたい。ただ、市街地整備は非常に件数が多いので接続率、早期にどのくらいの方に使っていただけるのか、状況等も加味しながら今後を視野に入れつつ検討していきたい。
- また、接続率についても過大な見込みではないかというご指摘をいただいたので、委員会の資料に従来の地区を比較しながら実現可能な接続率で事業計画を進めるつもりである。
- 三浦議員          この工区を途中で変更されている。あそこもつなぎ込みが想定できないので計画から外すとのことで、これまでも事業を考えられる中でできるだけ、繰入金部分も含めて事業全体を捉えて、持続可能な下水道事業の実現が行革の中にもうたわれているし、今までもずっと言ってこられたと思う。
- 指摘したいのは、これだけの予算があらかじめ膨らむことがわかっていっている中で、つなぎ込みが今までこれだけ確保すると言っていたものが極端に膨らむわけではない。エリアが変わっていないのだから。そうでありつつイニシャルがこれだけ増えた。つなぎ込みで想定すべき収

- 入が限られている中で負担を増やして、これで本当に下水道事業が成り立つのか。このエリアでこの整備が果たして予算に対してどのくらい事業効果があるのか。これだけ事業が膨らみそうな予想ができるなら、少し考え直す部分があって然るべきではと思うのだが。詳細をもう少し聞かせていただけないか。
- 上下水道部長 工区であるJT跡地だが、当初はこの辺の開発が進む前に事業を予定していたが、諸般の事情により事業実施が遅れ、既に整備が終わってしまったので新たな接続がなかなか見込めない。むしろ公共施設が集中する市役所周辺を進めるべきということで工区の変更をした。
- 三浦議員 下水に接続する件数が限られている中で事業費が膨らむことへの対応についてだが、この浜田処理区に限らず既存の他の下水事業、公共下水に限らず集落排水等も含めて、実際に多額の繰入金に依存している。したがって浜田処理区の工事の進捗状況、実際の接続状況を考慮しながら、全体的な下水事業の経営改革を進めていきたい。
- 上下水道部長 わからない。このエリアのつなぎ込み状況を見ながら全体の下水道事業の健全化に努めていくと言われたのか。私が伺いたいのは、今回整備計画が出ていて、その整備計画に対する予算が膨らみそうだと出ている。これは間違いない。膨らみそうなので、今まであった計画をそのまま、物価高騰で膨らんだ。物価高騰は我々にはどうしようもないところもあるかもしれないが、そういう状況を見ながら事業をどうするかは考えていかないといけない。物価高騰やいろいろな影響があって予算が膨らんだことを、どのように踏まえて事業計画が変わったのかをもう少し詳しく伺いたい。膨らんだが事業内容は変わらないとなると、事業の採算は取れないと考えるのが普通だと思うが。
- 三浦議員 先ほどの説明に誤解を招く部分もあったかと思う。まず今の下水の事業状況だが、ご指摘のとおり繰入金にかなり頼る部分がある。そういう部分の経営改善、最終的には我々上下水道部としての企業努力もするが最終的には利用者の負担増、利用料引き上げも考えていかないといけない。ただ、その具体的な内容については接続率の推移等も考えていきたい。
- 上下水道部長 浜田処理区の事業費が膨らんだので上げるのではなく、下水事業全体として考えていきたい。
- 三浦議員 また、事業費が上がったことに対する改善点はないのかとのことだが、従来から上げていた部分ではあるが今回、設計施工一括発注方式を取っている。浜田市でもあまり事例のないやり方だが、民間事業者の知恵を借りながら事業費を圧縮する。あるいは同じ事業費であってもよりよい施設を整備していきたいと考えている。
- 上下水道部長 利用者負担を上げるということは、このエリアでつなぎ込みが想定される官公庁の利用負担が増えるということになると思うが、その点はどのようにお考えか。
- 三浦議員 当然官公庁も利用者なので料金の負担はしていただく。ただ、今は裁判所は新しく建て替わっているが、官公庁はかなり老朽化施設もある。浄化槽の維持管理費、あるいは更新費用等々考えると、下水道に

三浦議員

つないでいただくほうが効率がよい場面も多々あるかと思う。

官公庁エリアで、例えば市役所もある、こうしたところがつなぎ込みをして利用客になる。つまりその利用料は浜田市の予算の中から払わないといけない。そうすると、利用者負担を上げるということは、浜田市が下水処理にかかる費用を払う分が膨らむということ。それも踏まえてここで収益をきちんと担保していくと。そうしたことでこの整備計画の妥当性を担保されていると理解してよいか。財布は同じなので、そこに少し考え方の矛盾がありはしないかと指摘しておきたい。

上下水道部長

浜田市もいちユーザーであり、使用料としてお金をいただくのは市の財政負担で同じではないかというご指摘は、そのとおりである。ただ、下水道使用料はあくまでも労役提供の対価であり、下水道を使用することに対する正当な対価をいただくことになるのが一つ。

また、例えば市役所の浄化槽を維持管理していくことと、下水道整備して大きなパイで、処理場としてコスト負担をする場合との比較になるかと思うが、私どもは集合処理のほうが適している、統括的に見た場合には負担が軽くなると考えている。

笹田議長

ほかに。

( 「なし」という声あり )

## (10) その他

笹田議長

三つ桜酒造の跡地について。市長。

市長

( 以下、資料をもとに説明 )

笹田議長

ただいまの報告について質疑等はないか。

川上議員

先ほどから市長が、合意ができたらと何度も言われた。もともと合銀を通じて売却の話、活用・利用の計画を出す話があったかと思う。デベロッパーと市役所、どちらが高く買うかのでんびんかと思う。市役所は鑑定評価で買うという、デベロッパーは利活用を考えれば必ず安く買う。そうすると、どこに話があったのか。ここに恣意があったのでは。

市長

地権者の代表者と話したときに、当初はこの土地をどなたかに売却したいとのことで、間に金融機関が入られて十数社と面談された。さまざまな提案があったと伺っている。ただその提案の中には大変立地的にもよい場所なので、単に事業として見るのではなく行政と一緒に利活用を考えたらよいではないかといった提案もあったそうである。それを踏まえて6月9日に市にお越しいただき、市にその考えがあるかといった質問があり、そこから本件を検討した。その過程で最終的には鑑定評価が出た後に話してどうなるかわからないが、必ずしも値段が高いところに売りたいという考えではないと思っている。地権者は大変古くからあそこで事業をやっているから、できるだけ市のために活用してほしい思いがとおりである。したがって、価格面以外の要素もお考えになるのではと思っている。とはいえどのくらいの価格になるのか、果たして向こうにご理解いただける価格になるのかわからないので、まずは鑑定評価してみようということである。

川上議員

せっかくなので民間のデベロッパーが多額の価格で購入計画もあった。出てないのに高額だと言われたが、これはまだわからない。評価もしてないのに高額だという話があったとなると、何が本当なのか。デベロッパーが買おうとするものを市が入ったら、必ず市が優先になる。デベロッパーが出した金額より高くなるかもしれない、ということが言いたかった。正当な価格や、合意の上と言われた。高い金額を言われた人もいたとも言われた。何をもとに高いのか。評価もわからず、基準もわからないのに。それが問題である。土地は確かに浜田にとって有効だと思う。商業地として活用できる。今後浜田駅前開発計画などをつくり、何かに使うなら恐らく商業地を外されるだろう。そこまでしてそこに何かをつくる必要があるのか。浜田の歴史を大事にしようなどと、どこかで聞いたような話である。そうではなく、浜田に必要な土地なら今後検討する中で問題が出たというならわかるが、初めからそういう言葉を出しておいて、浜田のために必要だからというのは方向性が違うのでは。歴史関連でこの土地を使うなら考え直していただきたい。検討においてしっかりやるという返答をいただきたい。

市長

地権者の代表の方が、市で検討していただきたいという中で、必ずしも価格だけではないと。価格だけなら恐らく高値で買いたいという方がいらっしゃったのではと思うが、歴史のある会社だったので将来の浜田市にとって活用してもらえらるならそれを優先したいというお考えで、市にこの話をいただいたと思っている。とはいえ条件面の話は当然出てくるので、まずは鑑定評価した上で地権者の代表者とお話ししたいというのが1点目である。

活用方法についてはさまざまなところからいろいろなご意見を頂戴している。具体的な提案もある。ただ、これについてはあくまでも取得する方向で合意ができた後の話で、検討委員会を立ち上げ、各界の代表者で構成される検討委員会でしっかり議論していただきたいと考えている。したがって今の段階で何に使うといったことは私も考えてないし、まだ言う段階ではないと思う。まずは条件面が合うかどうか、そのために鑑定評価を行いたいとご提案させてもらっている。

足立議員

公共事業を行う場合、公共事業実施計画による理想のまちづくりのために、ハード設備やソフト事業があつての場所確保や開拓をするのが当然だと思うが、今回の流れを見ると大きな目標は今のところまだないが、浜田市内の一等地だからぜひ市が確保しておきたいという前提で今回の話の検討に入ったのだと認識してよろしいか。

市長

そもそも全体計画があり、必要な土地を取得するのが一般的な流れだろう。ただ、全体計画をつくっても土地が取得できるかわからないし、かと言って簡単ではない。このたび駅前通りの先にある一等地、かつまとまった土地のご提案を地権者からいただいたので、検討してみようと。私は前向きに考えたいというスタンスである。これまでもいろいろな市民から、浜田駅前には人が集うところがないとか、岩多屋跡地のときにも商工会議所から、あそこを活用したらどうかという

声があった。さまざまな方々から駅周辺の活用についてご意見を頂戴していた。ただ、まとまった土地もなくどうすることもできないので難しいと思っていたときに今回のご提案をいただいたので、前向きに考えるべきだと思っている。

足立議員

考えはわかった。日本海信用金庫駅前支店跡地は今空き店舗になっている。これは金融機関側で処分されるのだろうと思っている。今後、このように浜田市において一等地とされる土地や建物を市に買ってもらうという話になってくるのではという心配がある。今後一等地であれば市はどこでも買い取るのかと受けとめられかねない状態になるかと思うが、ラインを引くのか。それとも一等地であれば市は率先して介入するのか。考え方をきちんとしておかないと、話が飛躍して安易に市に買い取らせようという流れになるのではと心配である。

市長

ご心配はあるかもしれないが、自分の土地を買ってくれと言われて二つ返事するつもりはない。駅前のみならず市内には空地があちこちにある。その土地がにぎわい創出しる防災の観点にしる、市に必要な土地かどうかは、まず執行部でしっかり議論し検討し、その上で議会にお諮りしたい。今回の三つ桜の土地は、皆も感覚でご理解いただけたと思うが、駅から続く通りの中でまとまった広さの土地というのはなかなかないので、今回は検討したい。

足立議員

理解した。担当課にお願いしたいのだが、冒頭から1237坪という表現があるが、できれば平米数を記載していただきたい。

地権者代表とあるが、代表以下何名いるのか数字を明らかにしてほしい。またこの場合団体の代表者の名前は記載されるべきだろう。

副市長

面積については平米数もわかっているのでまた改めてお示しする。代表者は複数おられ、全員の同意を得ていることは伺っている。代表者名について、当然代表者名の印で送ってもらっているので、ご了解が得られれば公表させていただく。

足立議員

企業AとBがいるが、伏せる必要があるのか。個人ならまだしも法人なら隠さなくてもよいのでは。

副市長

例えば浜田駅前銀天街協同組合や建築士会支部の方等は名前を出させていただいたが、法人はA Bにしている。これも先方からのご了解を得て表明したい。

笹田議長

ほかに。なければ執行部は退席となるが、議員から何かあるか。

川上議員

先般7月31日に国立劇場で石見神楽を上映し非常に好評だったという報告を受けた。浜田の者として喜ばしい。

当日バス3台と市の公用車1台、合計4台で約70人が行かれた。出発前に模様のおかしい方がおられたとも聞いているし、戻ってから数名の新型コロナウイルス発症者が出たと聞いている。執行部はどのように捉えているか。

産業経済部長

コロナ対策としてバスに乗る前に皆に抗原検査を行った。帰る前にもバスに乗る前に抗原検査を行い、全て陰性だったと聞いている。

川上議員

事前に抗原検査をやり、かつ帰ってもする必要があると私も言った

ので、恐らくやっていたのだらう。何が言いたいかというと、出発前にすでに具合の悪い人がいたにもかかわらず、その方も一緒に出発された。具合が悪かった原因までは知らないが。帰宅後に微熱が出て、休まれた方もおられたとの情報が入っている。きちんと調査されたのか。これだけ大規模な移動して、何もないはずがない。バスに13時間乗っている。換気はしても車内中央の空気は滞留している可能性がある。そういうことがあるとわかっていながら、これだけ多人数をバスという狭い空間で13時間も移動させた。その後の結果は把握しなければならない。事業をしたのだから。浜田の神楽はよかったけども、その後どうも新型コロナウイルス感染症患者が出たという話がすでに入ってきている。この点はしっかり把握していただきたい。調査するか。

産業経済部長  
川上議員

発症したとの報告は受けていない。調査する。

これは民間だけでなく市職員も一緒である。休まれた方がおられたら、その方は発症者である。しっかり調査していただきたい。後日報告いただく。

笹田議長

個人情報に関連すると思うが、そのようなことが市にできるのか。難しいと思うが。確実な情報でもない。保健所からの情報でもない。市としてそれを追跡するだとか、個人情報を把握するというのは難しいのではないかと思うのだが。市の見解をお願いします。

健康福祉部長

今の話からすると、なかなか個人情報を知り得る方法はないと思っている。行かれた方に具合が悪くなった方はいないか、個人的にアンケートをされるのはよいと思うが、感染症に関してアンケートなどは難しいかと思う。

川上議員

個人情報なのは重々わかっているが、これだけの規模で移動して何もなかった、よい結果だったと言い切れるのか。後から感染者が出たことが外部から指摘されたら非常に恥ずかしい。しなければよかったということになりかねない。しっかりした運用を徹底し、そして今後に生かしてほしい。

産業経済部長  
足立議員

できる範囲で調査する。

先日の総務文教委員会において、浜田高校野球部のためにクラウドファンディングに市が取り組むという話が出た際の、教育部長の発言が非常に気になり、違和感があった。三浦副委員長の質問に対する答弁だったと思う。浜田高校が甲子園に行くのがうれしいのは当たり前である、テレビで地域の紹介があり特産物の紹介や情報発信力、地域PRにもなる、そうした中でクラウドファンディングに取り組むのだと。甲子園は伝統ある大会で、そこで勝ち上がっていくのは特別なことであり、特別な重みがあるとの発言もあった。三浦副委員長も言われたが、野球だけが特別ではないし、甲子園が特別なところでもない。特に今の時代は。そうした中でこの発言に対してほかの執行部が何も言われなかったことも、私は不思議に思った。三浦副委員長が言われたように、ほかの部活も同様に、ひょっとすればそれ以上に一生懸命頑張っている方がいる。それを踏まえて、なぜ野球だけこれだけ取り

上げないといけないのか。ぜひ、全国大会に行った子どもがいるなら市は全面的にバックアップされるべきだろうと思う。ほかのスポーツ、もっと言えば文化部。先般、浜田高校放送部は全国放送コンテストラジオドキュメント部門で全国3位になっている。非常に名誉がある。野球だけ特別なのではなく、ほかにも頑張っている学生たちへ全面的に応援していただきたい。スポーツ都市宣言について一般質問される議員が過去にはいたが、そうしたことも踏まえてスポーツであれ文化であれ、いろいろなことを一生懸命取り組んでいる学生への応援というものを、三浦副委員長に対する答弁は「今後検討していきたい」だったが、野球でクラウドファンディングがすぐできるなら、すぐ検討できると思うが、教育長はどのようにお考えか。

教育長

まず今回の浜田高校甲子園出場について、生徒の応援も含めて非常に多額の経費がかかるというのは、どこの出場校に聞いても同じ事情だと思う。特に地方大会優勝が決まった後の短い期間で、それだけの経費を用意しなければいけないことに対して、市としてもしっかりと応援していく姿勢の中で、今回のクラウドファンディングを実施しようとした。クラウドファンディングを甲子園以外にも使うかどうかは、今回やったこととはまた別の視点で考えていかなければいけないとは思っている。確かにほかのスポーツでも多くの子どもたちが頑張っていて、全国大会に出場する子もいる。今後の時点でも教育部長が話したように、しっかりと応援していくためにどういうことを考えていかなければいけないかは、教育委員会の中でも議論を始めたい。

ただ今回のクラウドファンディングについては、浜田高校に多額の寄附をいただいたことに対して皆への感謝の気持ちは変わらないし、それは甲子園の出場を応援する気持ちで寄附をいただいたので、きちんと学校へ届けたい。ほかのスポーツについてどうするかは改めてしっかり検討させていただきたい。

足立議員

私も、多額のお金がかかることは十分わかるし、野球に携わっていたので相当な費用がかかることは十分理解している。ただ、どう考えても今回の教育部長の発言及び流れでいうと、野球が特別な扱いをされていることは市民も感じている。それを執行部が正しく客観的に受けとめない。一生懸命やっていることが応援してもらえたら誰でもうれしい。それがなぜわからないのか。教育に携わる方があのような発言はされるべきでない。教育長に再度伺う。

教育長

私の個人的な考えを述べさせていただくなら、全てのスポーツは平等だと思っているので、そこで活躍する子どもたちをしっかりと応援したい気持ちは議員と全く同感である。ただ今回のクラウドファンディングに関して、やはり特別な思いが部長の中にあっただのかもしれない。私としては野球だけでなく、スポーツだけでなく、文化活動でも。自然科学部がとても素晴らしい成績を残していることも承知しているので、しっかりと応援していきたい。

笹田議長

ほかに。

( 「なし」という声あり )

ないようなので、執行部はここで退席いただいて構わない。

《 執行部退席 》

2 第2回はまだ市民一日議会の周知方法の報告とお願いについて

笹田議長  
三浦委員長

議会広報広聴委員会、三浦委員長。  
( 以下、資料をもとに説明 )

皆にお願いである。今年度も多くの市民に参加してもらいたいと思っており、こうした催しをすることに関して商店や民間施設へポスター掲示やチラシの設置をお願いしたいと思っているので、皆のネットワークで依頼をかけてほしい。ポスター掲示やチラシ設置について、ご快諾いただけた施設については議会事務局へ報告をお願いする。各議員にチラシ30枚、ポスター3枚を用意している。1施設につきポスター1枚、チラシ10枚を目安にしたが、追加で必要があれば事務局へ申し出てほしい。知人に市民一日議会に興味をお持ちの方がいれば、ぜひ参加のご案内をお願いする。

なお、昨年度は定員を外したが今年度は10名という定員を設ける。応募者多数の場合は抽選になることをご了承いただくよう申し添えてほしい。

当日、市民一日議会を迎えるに当たって昨年度反省する中で、議員全員どういった心持ちでその会に臨むのか、意識合わせが必要ではないかという反省点が出されていた。これは日程が近くなればまた全員協議会の場を借りて、ルールや運用、心構え等を共有しておきたい。本日は周知のお願いにとどめる。よい会にしたいと思っているので、皆のご協力をお願いする。

笹田議長

ただいまの報告について質疑はないか。  
( 「なし」という声あり )

3 その他

笹田議長

最後に議員から何かないか。  
( 「なし」という声あり )

私から1点報告する。7月4日月曜日13時から、全国都市会館で全国市議会議長会の正副会長会議、会長会議に参加した。またその日の15時から横浜市で、横浜市会議事堂の視察と正副会長会、議会議長幹事で意見交換会を行っている。その翌日、7月5日13時から、東京の砂防会館別館で全国市議会議長会第228回議会に参加した。その日の13時、東京都の全国都市会館にて第24回国と地方の協議の場等に関する特別委員会に参加した。また次の日7月6日東京都で、全国市議会議長会正副会長による要望活動を行ってきた。赤池正明内閣府副大臣、鳩山次郎総務大臣政務官、田所嘉徳自由民主党総務部会長に市議会議長会副会長として要望に行った。また引き続き、今年度議長会の関連が多いのでしっかりやっていく。

河上局長

最後に1点事務連絡がある。

決算資料購入について。紙媒体での決算資料を希望される方は、事務局で取りまとめる。資料名と代金は決算資料一覧のとおりである。購入を希望される場合は8月19日までに議会事務局まで申し出てほしい。なお、購入費は政務活動費の対象となる。

笹田議長

以上で全員協議会を終了する。

[ 15時 07分 閉議 ]

浜田市議会全員協議会規程第6条の規定により、ここに全員協議会記録を作成する。

浜田市議会議長 笹 田 卓